

大使館からのお知らせ

【注意喚起1】 バングラデシュにおける邦人殺害事件の発生について

1 10月3日午前（現地時間）、バングラデシュ北西部のロングプール県（首都ダッカから約300キロ）において、リキシヤに乗車していた日本人男性が、オートバイに乗った者らにけん銃で撃たれ、殺害されました。

2 本件に関し、「I S I L（イラク・レバントのイスラム国）バングラデシュ」を名乗る組織が犯行声明を発出し、イスラム諸国における外国人に対するさらなる攻撃の可能性を示唆しています。

3 なお、I S I Lは、本年1月から2月にかけて、シリアにおいて、湯川遥菜氏及び後藤健二氏を殺害したとみられる動画を発出したほか、本年9月には、I S I L機関誌において、インドネシア、マレーシア及びボスニア・ヘルツェゴビナの日本の外交使節（大使館等）を攻撃対象の候補として言及したことがあります。

4 つきましては、上記のような情勢に十分に留意し、誘拐、脅迫、テロ等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、各地域の特徴を踏まえた上で、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等の関連情報の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに、状況に応じて適切な安全対策が講じられるよう心がけてください。

【注意喚起2】 サバナ公園内での強盗事案発生について

9月24日（木）午後4時頃、サンホセ県サンホセ市にあるサバナ公園内において、日本大使館関係者（15才少年）が友人と2人で歩いていたところ、マウンテンバイクに乗った少年に「金を出せ。携帯電話を出せ。」と脅されました。少年2人が拒否すると、強盗の少年はポケットに手を入れて武器を持っているような仕草をし、「仲間を呼ぶぞ。」とさらに脅迫したため、少年2人が携帯電話を差し出したところ、携帯電話を奪って逃走しました。

サバナ公園のような比較的人通りのある場所で平日の昼間にこのような事案が起きています。日頃から安全意識を持ち、適切な安全対策を心がけてください。

【治安情報】 当地新聞より（殺人事件、強盗事件など、毎月の主要な事件について概要をお知らせしています。）

「26歳の男性、銃撃されて死亡」

9月1日午後8時、アラフエラ県アラフエラ市において、49歳の男性宅に強盗犯が侵入し、家主を銃撃した。強盗は未遂に終わったが、撃たれた男性は間もなく死亡した。

「タクシー運転手の男性、銃撃されて死亡」

9月3日午後1時半、サンホセ県サンホセ市バリオ・メヒコにおいて、スペイン人の客を乗せたタクシー運転手が、一時停止したところ、2台のバイクに分乗した男4人に銃撃されて死亡した。乗客は無事であった。被害者はリモン出身で、銃の不法所持及び偽札使用の前科があった。

「9歳の男児、流れ弾を受けて重傷」

9月5日午前2時、サンホセ県サンホセ市内にある民家の玄関において発砲があり、銃弾数発のうち1発が家内で寝ていた9歳男児の首に当たって重傷を負った。容疑者は家人と揉めており、報復で発砲したものとみられている。

「17歳の男性、銃撃されて死亡」

9月5日未明、リモン県リモン市内で喧嘩が発生し、17歳の男性が仲裁に入ったところ、銃撃されて間もなく死亡した。

「50歳の男性、強盗に銃撃されて死亡」

9月5日午後1時45分、リモン県ポコシ市において、50歳の男性が覆面を被った男に銃撃されて死亡した。犯人は被害者が持っていた現金を奪って逃走したが、警察への通報により間もなく逮捕された。被害者は洋服の訪問販売をしており、また、現場付近の工場従業員の小切手換金もしていたため、毎週金曜日に多額の現金を持ち歩いていた。

「43歳の男性、死体で発見」

9月6日未明、アラフエラ県アラフエラ市において、43歳の男性の死体が発見された。男性は、刃物で刺され、さらに18キロの石が入った袋で殴打されて殺害されたものとみられる。

「84歳の男性、自宅裏のドラム缶から死体で発見」

9月6日、プンタレナス県コレドーレス市において、農場主である84歳の男性（キューバ人でアメリカに帰化）が、自宅裏のドラム缶から死体で発見された。死体は腐敗が進んでおり外傷はわからないが、農場の従業員と常にトラブルが絶えなかったことから、従業員の1人に殺害されたのではないかとみられている。

「ホテルに強盗4人が侵入、従業員と客が被害」

9月6日未明、アラフエラ県サンカルロス市にあるホテルに強盗4人が侵入し、従業員や客の携帯電話やカバン、宝石などを強奪した。通報を受けた警察が容疑者4人を間もなく逮捕した。

「19歳の男性、刃物で刺されて死亡」

9月7日午前3時50分、サンホセ県サンホセ市セントロのメルセ公園において、19歳のニカラグア人男性が別の男性と口論になり、刃物で刺されて間もなく死亡した。

「40歳の男性、銃撃されて死亡」

9月7日午後7時、エレディア県エレディア市セントロにおいて、動物病院の警備員である40歳のニカラグア人男性が、病院が入っている建物のオーナーのボディーガードである男性と揉め、銃撃されて死亡した。容疑者の42歳男性は逮捕された。

「未成年者への性的暴行事件が続発」

9月7日午後11時、グアナカステ県ラ・クルス市において、12歳の娘を強姦した容疑で父親である男性が逮捕された。逮捕された男性はニカラグア人で不法移民であった。

また、8日には、プンタレナス県アギーレ市において、43歳の男性が男児3人に性的暴力を加えたとして逮捕された。

「30歳の男性、強盗に銃撃されて死亡」

9月7日午後9時半、カルタゴ県ラ・ウニオン市において、30歳の男性が強盗に襲われ、抵抗したため、銃撃されて死亡した。

「29歳の男性、銃撃されて死亡」

9月7日午後1時、サンホセ県サンホセ市クリストレイにおいて、29歳の自動車整備士である男性が車を修理していたところ、バイクに乗った男2人に発砲され、銃弾4発を受けて死亡した。被害者は麻薬・傷害・銃不法所持などで取調べを受けたことがあり、犯罪絡みで殺害されたものとみられている。

「42歳の男性、銃撃されて死亡」

9月10日午後2時20分、サンホセ県サンホセ市アティージョにおいて、42歳の男性が同地区に住む母親を訪ねようとしたところ、2人組の男に銃で少なくとも4発撃たれて死亡した。被害者には前科があり、逮捕歴は57回にのぼることから、犯罪絡みで殺害されたものとみられている。

「男性2名が銃撃されて1名死亡、1名重体」

9月10日午後2時45分、サンホセ県デサンパレードス市において、男性2人が4人組の男に銃撃され、22歳の男性は死亡し、19歳の男性は重体となった。19歳の男性は殺人罪の服役を終えて、先月出所したばかりであった。

「2人組の強盗、家主に銃撃されて1名死亡」

9月9日午後7時、カルタゴ県パライソ市の民家に2人組の強盗が侵入した。家主が強盗に向かってに発砲し、犯人の1人（54歳男性）は死亡、もう1人は逃走した。強盗犯は家のドアを叩き、家主が出たところを銃で脅して襲ったが、家主も武装していたため発砲した。

「6人組の強盗が押し入り、現金等を強奪」

9月9日午後8時、アラフエラ県ウパラ市の民家に覆面を被り武装した強盗6人が押し入り、家内にいた夫婦と5歳の娘を縛りつけて、現金、宝石、テレビ、パソコン、家電製品を強奪して逃走した。

「8月の殺人件数は1日当たり2件に急増」

司法警察の発表によると、今年8月の殺人件数は60件であり、過去2年間で最多となった。次いで多かったのが3月の51件であり、今年1月から8月にかけて、既に369件の殺人事件が発生している。うち153件が麻薬絡みの事件であり、犯行動機が不明な90件に関しても大部分が麻薬絡みによるものではないかと見られている。

「スーパーマーケットの強盗犯6人逮捕」

9月13日午後8時、プンタレナス県ガラビト市において、スーパーマーケットに強盗犯6人が押し入り、入口を閉鎖してオーナーや客を銃で殴るなどして脅し、現金300万コロンを奪って逃走した。しかし、間もなく警察に逮捕された。

「車両から男性2名の死体発見」

9月14日午前3時、サンホセ県デサンパラードス市において、車両の後部座席から男性2人の死体が発見された。死体は、手を縛られ、顔はシャツで覆われ、半裸体の状態で、頭部には銃撃された痕があった。身元は不明だが、麻薬絡みの殺人であると警察はみている。

「32歳の男性、麻薬中毒者に刃物で刺されて死亡」

9月14日午前3時、サンホセ県モラビア市サンビセンテで、32歳の男性が自宅に戻ったところ、家の前にいた麻薬中毒者と口論になり、刃物で刺されて死亡した。

「30歳の男性、銃撃されて死亡」

9月16日午後3時、サンホセ県サンタアナ市において、洗車場の前で新聞を読んでいた30歳の男性が、車に乗った複数の男から散弾銃で撃たれて死亡した。被害者には車両盗難、麻薬密売、強盗などの前科があった。

「誘拐容疑で3人逮捕」

9月17日、サンホセ県コロナド市において、25歳と39歳の男性及び18歳の女性が誘拐容疑で逮捕された。被害者は31歳の男性で、9月13日から拘禁されており、家族に身代金100万コロンの要求があった。

「29歳の男性、銃で8発撃たれて死亡」

9月16日午後9時20分、サンホセ県クリダバ市の公道において、29歳の男性が男2人に銃で8発撃たれて死亡した。

「29歳の男性、強盗に銃撃され負傷」

9月18午後6時50分、リモン県シキーレス市にあるバナナ農園において、29歳の男性が強盗に襲われ、銃撃されて負傷した。

「ウェイトレス金槌で殴殺される」

9月20日、グアナカステ県カリージョ市において、38歳の女性が自宅で殴殺されているのが発見された。容疑者と見られる被害者の恋人が、19日、女性の勤務先であるレストランに現れ、女性は病気で病院に連れて行くため30万コロンが必要だとオーナーに要求し、金を受取ると帰っていったという。現在容疑者の行方は不明。

「25歳の男性、銃撃戦の流れ弾で負傷」

9月18日夜、サンホセ県サンホセ市パバスにおいて、25歳の男性が友人と歩いていたところ、付近で銃撃戦が始まり、流れ弾を胸部と腕に被弾して負傷した。

「27歳のタクシー運転手、銃で11発撃たれて死亡」

9月21日午前、サンホセ県ゴイコエチュア市において、27歳のタクシー運転手が、銃で11発撃たれて死亡しているのが発見された。被害者は強盗の罪で6年間服役し、21日前に出所したばかりだった。弾痕から、男性は助手席から銃撃されたとみられ、所持品類は盗まれていなかったことから、強盗目的の犯行ではなく、報復によるものとみられている。

「白タク運転手の男性、銃で10発撃たれて死亡」

9月21日午後3時50分、サンホセ市アティージョにあるショッピングセンター、プラサ・アメリカ前で客待ちをしていた白タク運転手の30歳男性が、バイクに乗った男2人に銃撃され、銃弾10発を受けて車内で死亡した。犯行当時は雨が降っており、被害者は車の窓を少し開けた状態で駐車しており、犯人はバイクで近づき、窓の隙間から手を差し込んで発砲したとみられている。

「レストランから出た男性、銃で5発撃たれて死亡」

9月21日午後7時20分、サンホセ県サンタアナ市において、レストランにいた客の男性が電話に出るためにレストランの外に出たところ、男に銃で5発撃たれて死亡した。犯人はバイクで逃走した。

「銃撃戦で男性1人死亡、1人負傷」

9月23日、カルタゴ県パライソ市オロシにおいて、民家で銃撃戦が発生し、23歳の男性が死亡、男性1名が銃弾を2発受けて病院に搬送された。後者には盗難の前科があった。容疑者2人は逃走したが、身元は判明しており、警察が行方を追っている。

「43歳の男性、銃撃されて死亡」

9月24日午後8時20分、グアナカステ県リベリア市において、43歳の男性がバーから出たところ、武装した男から車に乗るよう強要され、車内で銃撃されて死亡した。被害者は8ヶ月前に出所していた。

「33歳の男性、銃で12発撃たれて死亡」

9月25日午後3時50分、サンホセ県ティバス市サンフアンにおいて、33歳の男性が恋人の女性と車に乗っていたところ、近付いてきた男から銃で13発撃たれ、銃弾を12発受けて死亡した。男性には前科があった。一緒にいた女性は無事であった。

「28歳の男性、銃撃されて死亡」

9月26日午前1時15分、サンホセ県ティバス市において、28歳の男性が男に銃撃され、腹部に被弾して重体となった。男性には殺人、強盗などの前科があった。

「25歳の女性、同棲相手から銃撃されて死亡」

9月30日午後1時30分、サンホセ県デサンパラードス市において、25歳の女性が同棲していた27歳の男性から銃撃されて死亡した。犯行動機は嫉妬によるものとみられている。

「27歳の女性、同棲相手から銃撃されて死亡」

9月30日午前11時、サンホセ県ティバス市サンフアンにおいて、27歳の女性が同棲していた19歳の男性から銃撃されて死亡した。女性は以前から男性からDV被害を受けており、通報により警察が出動したこともあった。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または eriko.nishida@mofa.go.jp (西田)まで